

2026 年7月10日

「第4回 AI 手話翻訳ワークショップ」開催のご案内

目 的: (社) SiLa(サイラ)協議会が掲げる目的の達成に向けて、協議会の活動内容の紹介、他機関の社会活動の紹介および会員間の情報共有と技術紹介などを行います。

<https://www.sila.or.jp/>

日 時: 2026年7月24日(金) 14:00～17:00

場 所: AIMビル(アジア太平洋インポートマート) 3F 315会議室

<https://hello-kitakyushu.or.jp/aim-3f/>

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1

対面参加の定員: 40名程度

方 法: 上記をメイン会場としたハイブリッド方式

＊情報保障として手話通訳士が同席します。

プログラム:

<第1部> 東京都の「コミュニケーション・バリアフリー事業」に係る取り組み紹介

①タイトル: 「東京都の障害者情報コミュニケーションに関する施策及び
コミュニケーション・バリアフリー事業について」

発表者: 東京都福祉局障害者施策推進部企画課意思疎通支援担当 課長代理
小林祐子様

②タイトル: 「東京都のコミュニケーション・バリアフリー事業の概要」

発表者(代表機関): 電気通信大学 副学長/大学院情報理工学研究科
情報学専攻/人工知能先端研究センター 教授 高橋 裕樹様

③タイトル: 「(仮) 東京都のコミュニケーション・バリアフリー事業における連携機関の取り組み」

発表者(連携機関): ソフトバンク(株)技術統括プロダクト R&D 本部 課長 田中 敬之様

発表者(連携機関): アイホン(株)新規事業戦略担当 担当課長 尾関 貴志様

<第2部> 会員および非会員の団体等からの活動紹介

①タイトル:「福岡県における聴覚障害者支援の取り組み紹介」

発表者:福岡県福祉労働部障がい福祉課 主任主事 北嶋 唯斗 様

②タイトル:「東京 2025 デフリンピックを契機とした JR 東日本の取り組み」

発表者:東日本旅客鉄道株式会社 上野事業本部 CX 戦略ユニット 金山翔平 様

<第3部> パネルディスカッション

パート A:九州の自動車業界における聴覚障害者との共生に関する取り組み紹介:

パート B:AI 手話翻訳の実用化に向けた取り組み紹介と意見交換:

手話の画像データ収集、学習データの作成、および活用方法(ノウハウ)に関する大学、開発企業、および利用者側での工夫を共有化し、実用化を加速するために今すべき事項に関する意見交換を行う。

*ワークショップ終了後に、情報交換会(懇親会)を開催する予定です。

参加費は、1,000 円です。

◎ご参加頂ける場合は、以下の URL または QR コードにアクセスし必要事項をご記入の上、お申し込みをお願いします。お申込みの締め切りは、7月17日(金)とさせていただきます。

<https://forms.office.com/r/8AVsd4FaTe>



【問い合わせ先】

一般社団法人手話言語等の多文化共生社会協議会
事務局

contact@sil.or.jp